

情報誌「新樹」は、水と緑と詩のまち  
前橋をイメージし、男女平等の葉が青々と  
茂るよ<sup>う</sup>にという願いを込めました。

# しん じゆ 新樹

2017  
34号  
10.15

前橋市のホームページからでもご覧になれます

前橋市 新樹

検索

前橋市HP→市政情報→参画・協働・交流→男女共同参画

障害者の自立と社会参加……………P2-3

男女共同参画セミナー……………P4-5

まえばしこども食堂……………P6

輝くヒトにインタビュー……………P7

学びの場から人権について考える……………P8



皆一緒 作って食べて 美味しいね/まえばしこども食堂にて

ひとりで悩まず  
相談してください。

DV相談…………… ☎ 027-898-6524

女性、セクハラ相談… ☎ 027-898-6520

平日(月～金)  
9:00～17:00

## 地域社会での障害者の自立と社会参加

# お互いを尊重しあう共生社会の実現のために

地域社会には、体や心の機能に障害のある方が生活しています。障害者が地域社会で暮らすために、生活や就労の促進、自立のための支援が、いろいろな分野で進んでいます。ここでは、前橋市の障害者福祉制度の一部と、障害者の自立支援に取組んでいる「ゆずりは会」を紹介しします。



## 福祉サービスを受けるための「障害者手帳」

障害のある方が、日常生活で各種の福祉サービスを利用することが出来るように、障害者手帳があります。障害の種類により、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の3種があります。

前橋市における手帳の発行数は、平成29年3月現在で身体障



障害者が福祉サービスを受ける際に必要な「手帳」

害者手帳が11,862人、療育手帳が2,397人、精神障害者保健福祉手帳が2,133人です。手帳を持っている人だけでも、前橋市の人口約5%弱いることとなります。

障害者手帳を取得するには、国によって定められた一定の認定の手続きが必要です。それぞれが等級など障害の程度をあらわす段階に分けられています。

手帳は種別により表紙の色が分けられています。また、都道府県によって色やデザインに違いがあります。

## 家庭内での介護は女性に負担が

障害福祉サービス事業所などにおいては、スタッフが男女にか

わりなく同じ立場で仕事をしています。一方、家庭内での介護は、女性により多くの負担がかかることが多いのが実態です。

「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の考えや家庭内での介護は女性が主に担うという現実を、変えていく必要があるのではないのでしょうか。

## 前橋市の「日中一時支援事業」

こうした家庭での介護者の負担を減らすために、前橋市が行っている事業のひとつが「日中一時支援事業」で、「第四次前橋市男女共同参画基本計画」にも位置づけられています。心身障害児（者）の介護者が介護できない場合、市が委託した登録介

護者やサービスステーションに一時的に介護を頼める仕組みです。

前橋市が委託している7か所（市内は2か所）のステーションは24時間対応で、都合により介護ができないなどの事情のある介護者が利用可能です。

この日中一時支援事業は、介護者の社会参加や負担軽減のために役立っています。

## 多角的な障害者支援を行う「ゆずりは会」

前橋市内には多くの民間の福祉施設や事業所があります。社会福祉法人「ゆずりは会」（本部・青梨子町）は、就労移行支援を中心に、多様な事業を展開している社会福祉法人のひとつです。障害者の目標のひとつが「自



作業所でタマネギの処理を行う利用者さんたち

立」です。学習や訓練により、自分で生活できる能力を高め、可能な限り就労して経済的にも自立した生活ができるようになることです。「ゆずりは会」では、障害者一人ひとりの意欲や特性を大事に育て、利用者それぞれの自立を支援しています。

## 地域社会での「自立」を目指そう

そのひとつが、自然とふれあいながら自立への道を歩む就労支援。障害者が、延べ約2ヘクタールの畑で農作業を行っています。主にタマネギを栽培し、



広大なタマネギ畑

農協や学校給食に出荷します。皮むきやカット、給水、除草など、その人に見合った仕事があり、利用者はその成果を実感することが出来ます。そして就労支援に大切なことは、地域の農業者の協力と、消費者の理解です。また、社会生活に必要な基本的ルールから掃除や洗濯、調理などが就労移行支援です。こうした学習や訓練を通して「ゆずりは会」からは毎年多くの障害者が就職し、巣立っていきます。就労先を自ら創設しているのも「ゆずりは会」の特徴です。「ありす」中医研鍼灸院は、はり



自立支援のために鍼灸やマッサージの資格取得を目指している

師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師など免許取得支援や、実際に患者さんを治療する場を設けることで、継続的な就労を目指します。

障害者の自立を支える大きな柱が、お互いを尊重しあう心、地域の温かい支援だといえます。すべての人が障害の有無にかかわらず尊重される共生社会の実現を目指す必要があります。



## まずは、障害福祉担当の「窓口」に相談を

障害者手帳を取得するには手続きが必要です。そうした手続きや、どのような制度があるかなどのお問い合わせにに応じている「窓口」があります。前橋市では、市保健所内の障害福祉課と保健予防課です。

障害福祉に関するご相談は、市保健所内の障害福祉課・保健予防課にご連絡ください。相談内容は、個人情報として秘密が守られます。

(取材・記事・高坂)

### [相談窓口]

#### ○身体障害、知的障害

前橋市障害福祉課（市保健所内）

☎027-220-5711 FAX027-223-8856

#### ○精神障害

前橋市保健予防課（市保健所内）

☎027-220-5787 FAX027-223-8856

平日（月～金） 8:30～17:15

# 「LGBTについて知ろう」

## 自分らしく生きるには



講師 <sup>ひがし</sup> 東小雪さん

元タカラジェンヌでLGBTアクティビストの東さん。LGBTだけでなく、児童虐待や性的虐待防止のための啓発活動も行っています。2013年、同性のパートナーと「デイズ・シー」で結婚式を挙げ、2015年には渋谷区の「同性パートナーシップ証明書」第一号取得者となりました。

### LGBTとは

LGBTとは左のそれぞれのセクシュアリティの頭文字をつなげた言葉です。

- L** = レズビアン (女性が恋愛の対象となる女性、女性同性愛者)
- G** = ゲイ (男性が恋愛の対象となる男性、男性同性愛者)
- B** = バイセクシュアル (男性も女性も恋愛の対象となる人、両性愛者)
- T** = トランスジェンダー (身体の性別と自分が思う性別が一致せず、違和感を持つ人)

※「性同一性障害」は、自分の身体の性に違和感を持つ人が、性ホルモン治療や性別適合手術を医師から受ける場合の診断名のことです。トランスジェンダー=性同一性障害ということではありません。

LGBTは、今まで差別を受けてきた人のことを肯定的に捉えて直すことができる概念で、日本でも広く使われるようになってきました。しかし、これは性的マイノリ

ティを表す総称のひとつであり、頭文字をとったこの4つだけでは表せない多様な性もたくさんあるということも知っておいていただきたいと思っています。

### 活動の背景

私の家は父・母・祖母からなるごく普通の家庭でしたが、虐待の問題を抱えていました。私は父から性的虐待を受け、声をあげられないまま、小学校は不登校、二十代はうつ症状、リストカットや自殺未遂を繰り返して、精神科へ入院したこともありま

す。しかし、カウンセリングや適切な支援とつながることで健康を取り戻し、現在に至っています。性犯罪の被害に遭った人達が少しづつ声をあげ始め、現在110年ぶりに刑法の性犯罪規定の改正が国会で議論されて

います(注1)。

ただ、性被害を受けたから同性愛者になったというのは間違いです。また、よくある誤解では是非知っておいて欲しいのは「LGBTは趣味や性的嗜好ではない」ということです。セクシュアリティは選んだり、変えたりできないのです。

### LGBTの現状

最近の調査で、LGBTの数は人口の7・6%という数字が出ています(電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」)。つまり、約13人に1人の割合です。

学校ではLGBTの子どもはクラスに2、3人いることになりま

からかひやいじめなどたくさん

の困難があります。先生方には毅然とした態度で、折に触れて性の多様性を教えていただきたいと思

### 世界では

世界には同性愛行為に厳罰、極刑が科せられる国もまだ残っており、国連も勧告を出しています。一方、同性愛者の権利を承認し、同性婚を認めている国も増えています。アジアでは台湾が最初に同性婚を認めました。

G7の国々で同性間のパートナーシップに関して、国レベルでの法整備がないのは日本だけです。日本では同性パートナーは相続権がない、配偶者控除が受け

注1：刑法の改正は国会を通過し、6月23日に公布、7月13日に施行されました。親などの監護者の性的虐待は「監護者わいせつ罪」「監護者性交等罪」が新設され、「強制わいせつ罪」「強制性交罪」と同等に処罰されます。また、刑も重罪化され、被害者の告訴がなくても起訴できるようになりました。

られない、特別養子縁組で養子を迎えられないなど様々な不利益があるだけでなく、手術同意書へサインできない不安などもあります。

また、現在、日本でLGBTに関する法律というのは2004年に施行された「性同一性障害特例法」だけですが、性別変更は可能になったものの、性別適合手術を受けなければなりません。この手術は非常に身体的に過酷で、また経済的に負担の多い手術であり、国際的にはこの手術要件について人権侵害も指摘されています。

## 企業での取り組み

2016年「LGBTが働きやすい職場の指標」が示され、企業では、包括的なLGBT対応や、福利厚生制度の改正を始めています。企業でもダイバーシティ（多様性）が総合力の引き上げにつながると考え始めているのです。

また、民間企業のほうが、動きが早く、ここ数年で、同性パートナーが保険金の受取人に指定できるようになった生命保険会社や、同性パートナーにも家族割が適用された携帯会社、マ

イレージを共有できるようになった航空会社などが増えてきています。



## SOGIハラって何？

LGBTは「人」を指す言葉ですが、最近では性的指向・性自認に関連するいじめや暴力を指す言葉としてSOGIハラという言葉が使われ始めています。性的指向や性自認に関連する差別的な言動や嘲笑などの嫌がらせのことで、望まない性別での学校生活の強要、職場の強制異動、採用拒否や解雇など社会生活上の不利益を被ること、それらのハラスメント・出来事全体

SOGIは以下の頭文字をとったもの  
好きになる人の性別  
(性的指向: Sexual Orientation)  
自分がどういった性別かという認識  
(性自認: Gender Identity)

を現す言葉です。

## 新しい家族の形

同性カップルが子どもを迎える場合、様々なハードルがあります。例えば特別養子縁組は認められず、人工授精や体外受精などの生殖補助医療も受けられません。

しかし里親になることは自治体によって可能です。先日、大阪では男性カップルが10代の少年の里親として認められました。日本も新たな一歩を踏み出したことを嬉しく思いました。

同性カップルが子どもを持つこととすることに対し、「子どもがかわいそう」という人もいますが、私は子どもの幸せは、家族の形には依らないと思います。

## ALLYになって欲しい

6色の虹色のレインボーフラッグは、多様性の象徴でLGBTのシンボルのようなものです。性的少数者は見た目ではわかりづらいことが多いですが社会の中で共に生きている身近な存在です。皆さんにはこうした方々の理解者・支援者としてALLYになって欲しいのです。もし、あなたの身近な方がカ

ミングアウトしてくれたら、「話してくれてありがとう」「あなたの味方だよ」「どんなことに困っている？」「一緒に解決して情報を伝えてください。そして勝手に他人に話す事」アウトティングはやめてください。

また、虹色のステッカーをパソコンやノートに貼るなどして「ALLY」であることを積極的に表明していただきたいのです。ソジハラやセクハラなどの場面では「やめましょう」と発言し、性別の固定観念への気づきを促してほしいです。

性的多数者の方々がLGBTを知り、理解することで、誰もが生きやすくなるのではないのでしょうか。

(取材・記事: 佐々木)

### ○前橋市の取組み

市役所庁舎内1、2階にある多目的トイレの表示をLGBTを含めた誰もが利用しやすいように配慮した表示に変更しました。



今後、市有施設における多目的トイレの表示についてもできるところから順次表示の変更を進めていきます。

# ひろがっています。子ども食堂

「子ども食堂」とは、「安価な料金または無料で子どもや親子に食事を提供する場」のことです。2014年のテレビ取材がきっかけとなり、全国的に広がっています。こうした広がりは2009年の子どもの貧困率15.7%が2012年には16.3%に悪化したことや、2013年6月に子どもの貧困対策法が成立したことも背景にあるでしょう。

今回は前橋市で初めての「子ども食堂」を運営する「まえばしこども食堂」の代表入澤繭子さんにお話を伺いました。

## 「まえばしこども食堂」の活動

この日も夕方、会場となる城東ホルモン（上泉町）の店内はたくさんの親子連れで賑わっていました。6時になると美味しそうな定食が、待っている親子の前に運ばれてきます。今日の献立はトマトソースから手作りしたミートソースの Pasta、フライドポテト、小松菜のツナ炒め、ナスとキュウリの塩もみ、野菜たっぷりスープ、デザートはフルーツです。食材はすべて近隣の農家の方などからの寄付で、その日集まった物でメニューが決められます。飲み物、お菓子などはフードバンク（※）を利用してのようです。



和気あいあいとした店内

## きっかけは母親支援

「まえばしこども食堂」が誕生したのは、代表を務める入澤さんご



まえばしこども食堂のスタッフの皆さん（一番右が代表の入澤さん）

自身の環境の変化がきっかけです。親子二人の食事を楽しくできないかと始めた、地域の母親達とみんなで夕食を作って食べる活動が、以前から気になっていた「子ども食堂」へとつながりました。現在は事務スタッフ5名とボランティアスタッフ10名程度で活動しています。献立を決めたり、調理したりするのは、男性も女性も、スタッフ皆が協力して行うことで、スムーズに運営することができています。

## これからの課題と展望

現在「まえばしこども食堂」に訪れるのは未就学児や小学生とその母親が中心ですが、一人でも来ると子どもたちもだんだんと増えてきています。「今後は、このような場所が地域にもっと増え、親が仕事などで忙しい時に子どもが一人で行ける所ができたら」と入澤さん



美味しそうなこの日のメニュー

んはお話されていました。また、入澤さんは食品ロス（※）を減らしたいという思いも強く持っていて、「子ども食堂」の活動を通じて問題の解決に取り組んでいるそうです。まだまだ周囲への認知度は低く、もっと多くの人に知ってもらえるようにする方法を模索しているところ。しかし、取材を通して、地域とのつながりは確実にでき始めているのが感じられました。「まえばしこども食堂」の今後の活動から目が離せません！（取材・記事：林）

## まえばしこども食堂

城東ホルモン（上泉町）、麵家しん（朝倉町）毎月各1回開催。  
定員25名。（予約制）  
お問い合わせ  
☎090-2313-4189（代表入澤繭子）

## 平成29年6月開始！ まえばしフードバンク事業

- 食べ物の支援が必要な方  
まえばし生活自立支援センター（前橋市役所内） ☎027-8998-68990
- 食べ物を寄付したい方  
フードバンクまえばし ☎027-2266-15991

※1 フードバンク：食品の寄付を呼びかけ、集まった物を適切に管理保管し、そのニーズにあった団体、個人の方へとお渡しする活動。

※2 食品ロス：売れ残りや食べ残り、期限切れ食品など、本来食べられるはずの食品が廃棄されること。

# きらり

## 輝くヒトに インタビュー!



FMぐんま  
アナウンスセミナー講師  
清水 由美さん

FMぐんまアナウンスセミナー講師、フリーアナウンサーとしてご活躍中の清水さん。陸上自衛隊出身という異色の経歴の持ち主。今までのことやお仕事についてのお話を伺いました。

### ★規律ある生活にあこがれて

祖父は警察官、父は海軍出身という家に育ち、音楽大学を卒業後、規律ある生活にあこがれ自衛隊音楽隊に入隊しました。もちろん訓練や待遇に男女の差はありません。それは音楽隊員であっても同じ。当時の自衛隊は厳しいタテ社会で、「頭は使うな、体を使え。余計なことは言うな」とよく檄を飛ばされたものです。同期生との絆は深まり、体と根性が鍛えられました。

想像以上に過酷だった2年間。この体験談はどこでお話してもウケる私の鉄板ネタでもありますね。

### ★アナウンサーへの道

入隊中、演奏会の司会担当でしたが、アガリ症で、人前で話すのが苦手な私。周りからは、早口で滑舌が悪く何を言っているのかわからないとまで言われていました。上官からの勧めもあって、アナウンサー学校へ通うことになったのです。それが、アナウンサーへの道へとつながるきっかけとなりました。

アナウンサーは自主性がすべて。厳しく統制された自衛隊とはまるで反対でした。最初は戸惑いまし



自衛隊音楽隊のころ

過酷な訓練  
(一番手前が清水さんご本人)



たが、徐々に慣れていき、自分の言葉を伝える楽しさを覚えたのです。経歴の珍しさもあって、心霊スポットのリポーターに抜擢されたことも。「お化けもひるむ、元自衛官リポーター」というのが売りで、全国の自殺の名所など、樹海の中にも入りましたね。

### ★育児と仕事

結婚を機に群馬県へ。地元テレビ局で仕事をしながら、2人の子どもを出産しました。下の子が生まれて3歳までは専業主婦でしたが、その子が幼稚園に入るタイミングで声をかけていただき、再び放送界へ戻りました。

育児をしながら仕事を続けることが出来たのは、「家族の理解や夫の協力」があります。食事担当は夫で、今では料理が趣味。子供の面倒をよく見ていただいた「ママ友」の存在も大きかったですね。他にも、幼稚園に働きかけて、延長保育や休日保育をお願いしたこともあります。本当に色々な方々にお世話になり、今まで仕事を続けてこられたと感謝しています。

### ★仕事が面白い

仕事上「言葉」には気を付けています。「女々しい」「男勝り」など誤解を与えてしまうような言葉は要注意。「言葉は人格を表す」、ラジオの場合は「声は人なり」と言います。放送の世界や講師の仕事は、聞いてもらえるかどうかが決め手。そこに「男女の差はない」と私は思います。

自分の言葉を相手にうまく伝えられた時、そして聞いて下さった方々に喜んでもらった時に、私は一番やりがいを感じます。プロとしてこの仕事を続けるには、一生勉強だと思っています。

(取材・記事：杉本)



# 学びの場から人権について考える ～公民館から～

みなさん、公民館をご存知ですか？

市内には中央公民館と各地区にある公民館、計16の公民館があります。公民館では、家庭教育学級、少年やシニアの方々を対象とした教室、地域ニーズや地域課題を捉えた様々な学習講座を開催しています。家庭教育学級は、お母さんと乳幼児を対象とした講座だけでなく、「お父さん講座」も開催し、男性の子育ての学びの場も提供しています。

また、フォークダンスや陶芸など、自主学習グループの活動も活発に行われ、公民館は地域の生涯学習・地域づくり活動の拠点としてご利用いただいている施設です。

そして、公民館は「人権教育」、「人権啓発」にも取り組んでいます。

永明公民館では、共愛学園前橋国際大学と共催で、「えいめい・きょうあい子育てひろば」を開催しており、今回は、7月5日に人権・男女共同参画講座の一環で5回目として開催された家庭教育学級「子どもの人権～尊重するってどういうこと？わがままと違うの？～」



前田先生のアドバイスが光ります☆



熱心に学ぶ参加者の様子

の講座学習の現場にお伺いしました。

この大学の地域共生研究センター 前田由美子先生の講義に参加者23名が熱心に耳を傾け、「子どもの人権」について、

真剣に学習している姿が印象的でした。

子育て環境に影響する社会的背景や現状を絡めながら、「しつけは誰のために、何のためにするのか」についてグループワークを通して本音を引き出し、参加者全員で考え、子どもの「個」を認めることの大切さや大人への信頼や安心感が子どものためのしつけの土台になること学びました。

託児については、専門業者の方とともに、この講座からステップアップした「託児ボランティア養成講座」の受講者が協力しており、素晴らしい「学びの還元」が生まれていました。

学習終了後、2人のお子さんをもつ参加者の方にお話を聞くことができました。

この講座に参加し、子育てに関する知識を得られることはもちろん、本音の部分を確認してくれる学びの場であり、受講後にも前田先生のサポートがあり、エネルギーをもらえとお話していただきました。

また、館内には、地区内の小学生が書いた「人権に関する標語」も展示してありました。子ども達が素直な心で考えた標語を目にすると、人を思いやる「やさしい心」に改めて気づかされます。各公民館ではこのように、館内への人権標語掲示や公民館報へ掲載し、人権啓発を行っています。

みなさんも、公民館講座に参加したり、気軽に公民館へ足を運んでみませんか？



子どもたちも楽しく遊んでいました

## 男女共同参画セミナーを開催

### 演題：災害時の避難所運営

～男性も女性もともに生き残ろう 男女共同参画と減災～



講師：坂田静香さん  
(NPO 法人男女共同参画おおた理事長)  
日時：平成29年11月11日(土)  
午後2時～3時30分(午後1時30分開場)  
会場：前橋市総合福祉会館 2階多目的ホール  
対象：一般市民 先着100名  
受講料：無料

その他：手話通訳有り。託児有り(満1歳～就学前児) 先着10名。  
申込方法：10月31日(火)までに電話・FAX・メールのいずれかで、住所、氏名、電話番号、手話通訳や託児を希望される方はその旨を、前橋市男女共同参画センター(下記参照)へお知らせください。



## 編集後記



今回は前橋市の障害者支援施策と、「ゆずりは」さんを取材させていただきました。さまざまな障害を抱える方の自立には、地域の理解と協力が必要だと痛感します。《高坂 均》



この夏、行政や企業の性的マイノリティに対する前向きな姿勢が相次いで報道されました。少数者の尊厳に配慮した「共に生きやすい社会」を目指したいですね。《佐々木 信子》



清水さんへのインタビューは、笑いが絶えませんでした。自衛隊トークもさることながら、一番感銘を受けたのは仕事への情熱でした。《杉本 憲亮》



人は人との関わりの中でしか成熟出来ない。いろんな特徴、性別、考えがありますが、自分も人類多様化の一部ですから誰もが尊重される社会を作って行きたいですね。《奈良 かほる》



とても貴重な経験をさせていただきました。市民の皆さんが、様々なことを考えるきっかけになれば幸いです。協力してくださった皆さま、ありがとうございました。《林 円》

発行日：平成29年10月15日 編集：「新樹」編集委員

発行：前橋市 男女共同参画センター 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2 職員研修会館1F

直通電話：027-898-6517 FAX：027-221-6200 メールアドレス：sankaku@city.maebashi.gunma.jp

《新樹34号のご意見・ご感想をお待ちしています!》